

令和7年12月23日
総合計画・総合戦略審議会_資料2

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂案）

(1) 基本的な考え方

国においては、令和4（2022）年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。令和7（2025）年には、「地方創生2.0基本構想」を策定し、「人口減少を受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていく」ことを謳うとともに、そのために「地域の経済・社会、これらを支える人材の力を最大限に引き出す政策の強化」などが掲げられた。

本市の総合戦略においても、この考え方に即すとともに、総合計画に示すまちづくりの展開方針（政策の方向性）に基づき、豊かな生活を安心して営める地域社会の形成（まち）と、地域社会を担う多様な人材の育成・確保（ひと）、地域における魅力ある多様な就業・産業の維持・発展（しごと）を進めていく。

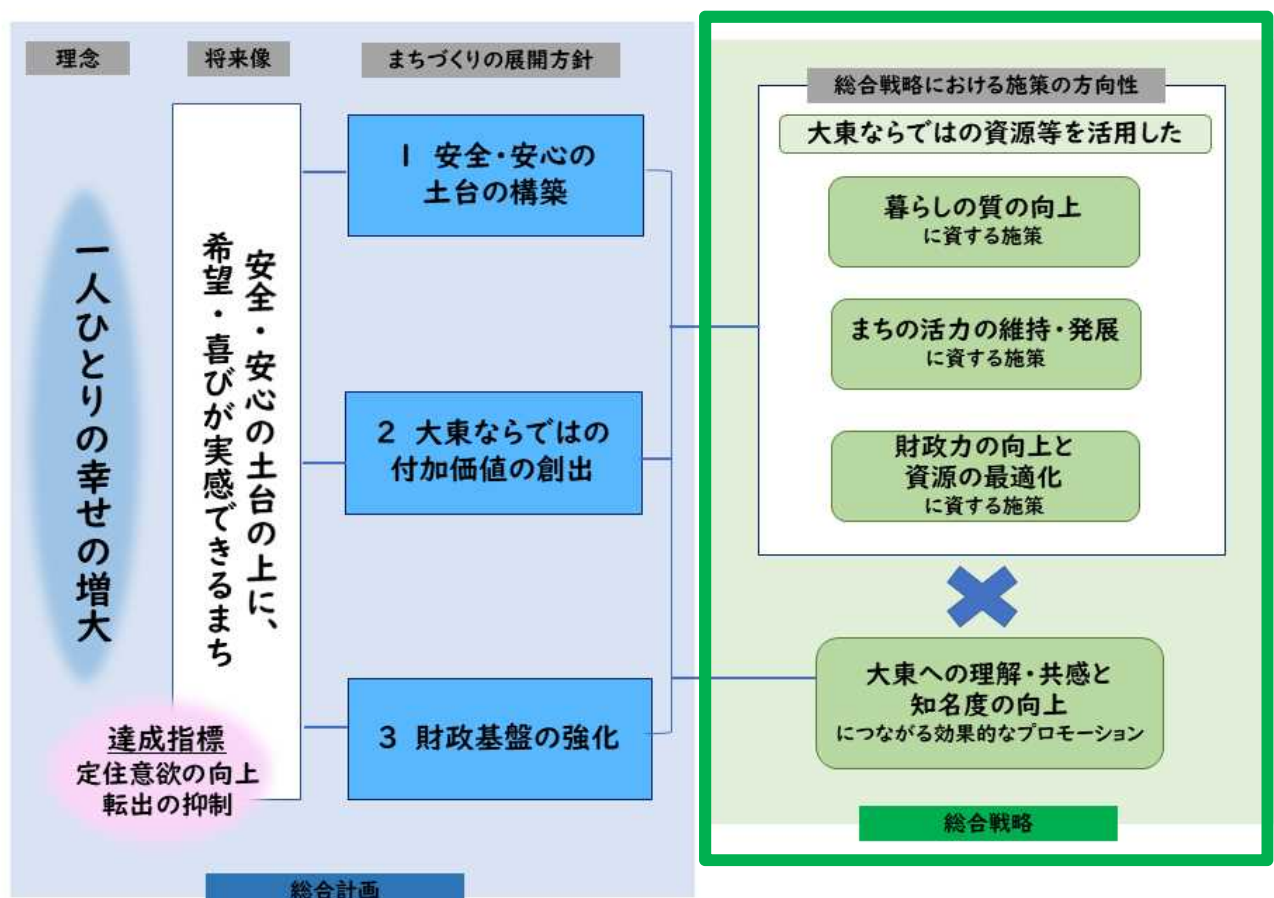
(2) 計画期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度までの5年間

	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度
大東市総合計画	第5次大東市総合計画 令和3（2021）年度～令和12（2030）年度 （前期） （後期計画）：5年間						
大東市総合戦略	第2期		第3期大東市総合戦略：5年間				
国 デジタル田園都市 国家構想総合戦略	令和5（2023）年度～令和9（2027）年度						
大阪府総合戦略	令和7（2025）年度～令和11（2029）年度						

(3) 総合戦略における施策の方向性

第5次大東市総合計画（後期計画）におけるまちづくりの理念「一人ひとりの幸せの増大」及びめざす将来像「安全・安心の土台の上に希望・喜びが実感できるまち」を念頭に、大東ならではの人や資源、組織、仕組み等を活用しながら、総合戦略の計画期間（5年間）中に次の3つの方向性で取り組む施策と、これらを積極的に発信するプロモーション施策を総合戦略として位置付ける。



大東ならではの人や資源、組織、仕組み等とは…？

大東が培ったソフト的な素地や、既に有する資源や制度などを活用した施策のこと

大東には、都市化が進んだ現在においても、地域コミュニティや住民間で互いに支え合う共助の仕組みが備わっており、安全・安心の暮らしを支えている。また、地域人材や関係団体との連携や参画によって多様なまちづくりを推進するとともに、切れ目のない子ども支援や創業・操業支援など、総合的な相談・支援体制の構築に先進的に取り組んできた。さらには、人口急増期に建設が進んだ公共施設や建物等の更新時期に差し掛かっており、ハード的にも人口減少時代に即したまちづくりに取り組むことができるチャンス^①の時期を迎えている。

また、都市部へのアクセスの良さや豊かな資源、コンパクトな市域など、地勢的な優位性を有している。

これらを活用したり、掛け合わせたりすることで、新たなものを一から構築するよりも効率的・効果的にまちづくりを推進することができる。

(3) 総合戦略における施策の方向性

まちづくりの理念である「一人ひとりの幸せの増大」、すなわち市民の幸福度の向上させることが、「定住促進」につながるという考えのもと、総合戦略における施策の方向性は、市民の日々の暮らしの満足度を高めるとともに、産業や文化など、まちの賑わいを創出するもの、あわせてそれらの施策を継続させるための財政力を向上させるものとする。

そして、それらの取組を市内外に知らしめ、認知度を向上させることによって、大東の魅力として確立させ、さらに市民の満足度を高め、定住を促す好循環につなげるものとする。

暮らしの質の向上に資する施策：

災害対策や子育て支援、教育の充実、交通手段の確保など、今住んでいる市民が「住み続けたい」と感じる住環境を整える施策

まちの活力の維持・発展に資する施策：

地域活動の中心を担う自治会の支援や地域産業の支援、新たな企業の参入、観光と産業の掛け合わせなど、様々な人や企業が集まり連携し合うことで、まちの賑わいを創出できる環境を整える施策

財政力の向上と資源の最適化に資する施策：

人口減少・少子高齢化が進展する中でも、**歳入増加・歳出削減、デジタル化・DXなどによって、効率的で安定した行政サービスを提供し続けられる**財政基盤を整える施策

大東への理解・共感と知名度の向上につながる効果的なプロモーション：

施策を実施する際は、常に市内外に向けた「発信」とセットで行うことを基本とし、大東への理解・共感と知名度を高めていくことで、シビックプライドを醸成する施策

(4) 重点分野

大東が有する強みや弱みなどを踏まえつつ、大東ならではの資源を活用しながら、次の分野で取り組んでいく。

8つの重点分野

- ①危機管理の徹底
- ②エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出
- ③健康寿命の延伸
- ④確かな学力の向上と教育環境の充実
- ⑤出産や子育ての安心と魅力の創出
- ⑥チャレンジする人と産業の後押し
- ⑦シビックプライドの醸成と市外からの人の呼び込み
- ⑧行政サービス改革

(5) 重点各分野の取組

1 危機管理の徹底

大東の特徴と課題

<強み>

自治会や自主防災組織など、地域主体の活動の基盤が築かれている
増補幹線や地下貯留などの整備により、浸水被害が軽減されてきている

<課題>

地震や土砂災害などの地勢的リスクを抱えている
街頭犯罪発生件数が増加傾向にある
施設等の老朽化が進んでいる
自治会等の地域主体の活動の担い手不足や高齢化が進んでいる

めざす「定住したいまち」の姿

- 日常から地域内で共助の体制が築かれており、防災・防犯力が高いまち
- 施設等の安全性が確保されているまち
- 市民が防災・防犯の取組や市の安全性について知っているまち

KGI	共助力の向上	近所の人と助け合える関係性が築けていると答える市民の割合の増加
	まちの治安の向上	街頭犯罪7手口発生件数の減少
	安心して暮らせていると感じる市民の増加	「安全・安心なまちだ」と思う市民の割合の増加

(1) 地域防災力・防犯力の向上

【KPI】

多様な主体と連携した危機管理体制の構築	・市が主催する訓練回数の維持 ・受援協定締結数の増加
自主防災組織の機能強化	・年に1回以上自主防災訓練を実施する地区数の増加 ・地区防災計画の策定数の増加
自治会運営支援の強化	自治会加入率の増加
地域の安全醸成に資する助け合い制度の加入促進	火災共済加入率の増加 交通災害共済加入率の増加

(2) 公共施設の老朽化対策

【KPI】

新庁舎整備の早期着手・推進	整備に向けた進捗率の向上
将来の公共施設のあり方と連動した計画的な老朽化対策	将来の公共施設のあり方を踏まえた長寿命化計画の策定数の増加

(3) 住宅の老朽化対策		【KPI】
住宅の耐震化	耐震化率の増加	
空家の適正管理の推進	空家相談窓口連携事業を利活用された件数の増加	
(4) 安全なまちであることを市民が知り、安心できる情報発信		【KPI】
大東の安全対策や防災体制など、まちの安全性の発信と周知		

大東の特徴と課題

<強み>

都市部へのアクセスが良い・市域がコンパクトで市内移動しやすい
 空家のうち流通可能な住宅が多い
 公共空間を活用した市民主体の取組が行われている
 大阪市内に隣接しているが、大阪市と比較して安価で住宅を購入できる

<課題>

一部、交通不便地や生活関連経路のバリアフリー化への対応など、快適な移動が難しい地域が残っている
 河川の浮遊ごみや臭い、まちなかのポイ捨てごみがまちの景観を阻害している
 賃貸用住宅が多く、分譲住宅が少ない
 未利用普通財産の活用の方向性の決定に時間がかかっている

めざす「定住したいまち」の姿

- 住み心地の良さを実感できる都市環境が整ったまち
- 身近に賑わいや憩いの空間があるまち
- 市民の環境意識が高いまち

KGI	駅周辺の賑わいの創出	駅前の滞留人口の増加
	大東での暮らしが住みよいと感じている市民の増加	住みよいまちだと感じている市民の割合の増加
	空家の抑制	空家率の上昇の抑制 (伸び幅の鈍化)
	環境に配慮した生活を意識する市民の増加	ふだんから環境にやさしいエコな生活を心がけていると答える市民の割合の増加

(1) 活力と持続性を高める都市空間の創出		【KPI】
駅周辺等の賑わい創出		公共空間を利用したイベント数の増加
未利用普通財産の早期方向性の決定		方向性が決定した数の増加
公共施設等の再編に合わせたエリア価値の創出		前面道路の路線価の上昇(府平均との比較)

(2) 快適な移動環境と住環境の整備		【KPI】
地域の実情に応じた移動手段の整備	公共交通（コミュニティバス等）の利用者数の増加	
生活関連経路（市道）のバリアフリーの計画的実施	生活関連経路（市道）の整備率の増加	
空家の利活用による流通促進	空家に関する補助金制度の活用数の増加	
市民・事業者の温室効果ガスの削減	自分ごととして地球温暖化について考え、行動している市民の割合の増加	
キレイで豊かな河川美化の推進	河川の浮遊ごみとポイ捨てごみの少なさへの市民満足度の向上	
(3) 住み心地の良さを市民が実感できる情報発信		【KPI】
大東の利便性や暮らしやすさなど、まちの魅力の発信と周知		

3

健康寿命の延伸

大東の特徴と課題

<強み>

高齢化率が低いまちである

大東元気でまっせ体操の拠点が市域全体に広がっている

市民間で「支え、支えられる」地域の支え合い体制づくりが推進されている

<課題>

後期高齢者数が増加し続けることが予測されている

介護度の重症化が進んでいる

全国的に介護人材不足が予測されている

全国的に若い世代の健康意識が低い

めざす「定住したいまち」の姿

- 年齢を重ねても活躍できる場所があり、心身ともに健康に過ごせるまち
- 健康維持に向けた取組が充実したまち
- すべての世代で市民の健康意識が高いまち

KGI	健康に暮らせる期間の延伸	新規介護認定者の平均年齢の延伸
	市民の健康意識の向上	自身が健康だと思う割合の増加

(1) 全世代の健康づくり		【KPI】
継続した運動習慣の啓発		健診受診者のうち、1日30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している市民の割合の増加
けん診受診に対する啓発強化		特定健診・各種がん検診の受診率の増加
(2) 高齢者の介護予防と生きがいの創出		【KPI】
介護予防に向けた多様な健康づくりコンテンツの展開		コンテンツ参加者の医療費の削減額の増加
高齢者の居場所づくりや生きがいづくりなどの社会参加の促進		年齢を重ねても社会で活躍し続けたい高齢者の割合の増加
高齢者の生活を支えるボランティアや人材の確保		ボランティアの実活動人数の増加
(3) 市民の健康意識を高める情報発信		【KPI】
市の健康に対する取り組みや健康づくりの重要性についての発信と周知		

4

確かな学力の向上と教育環境の充実

大東の特徴と課題

<強み>

平成21年より「教員の確かな関わりによる学び合う授業づくり」を実践している地域とともにある学校として地域人材の活用を推進している
家庭教育への支援に早くから着手している

<課題>

子どもの学力は無解答率等緩やかに改善しているが全国比としては道半ばとも言える
子どもの体力はコロナ禍以降、全国同様伸び悩んでいる
不登校児童・生徒は全国的に増加傾向にある中、高止まりの状況であり、引き続き「学びへのアクセス100%」の追求が必要である
学校施設の老朽化が進んでいる

めざす「定住したい」まちの姿

- 子どもたちが楽しく学校に通うことのできるまち
- 生涯にわたって学び続ける力が身につき、心身ともに健やかに育つまち
- 子どもたちが将来の夢や希望を持てるまち
- 学校だけでなく、家庭や地域で子どもの育ちを支えるまち

KGI	学校生活の充実	「学校が楽しいと感じる」児童・生徒の割合の増加
	学力の向上	学力調査におけるIRTバンド(1・2及び4・5)合計割合の向上
	主体的に学ぶ児童・生徒の増加	課題の解決に向け自分から取り組んでいる児童・生徒の割合の増加

(1) 学力の向上	【KPI】
教員による授業研究の促進と実践	「授業の内容はよくわかる」の肯定的回答の増加
「聞いてわかる」「話して伝える」活動を基盤とした、実践的な英語力の育成	中学3年時のCEFR A1レベル(英検3級相当)以上取得率の増加
ICTの効果的活用	教員のICT活用指導力の向上
学校の授業以外での学習習慣の定着	「学校の授業以外では全く勉強しない」割合の減少

(2) 家庭・地域と学校が強固に連携した学ぶ環境づくり		【KPI】
家庭での教育環境の向上に対する意識啓発	家庭における正しい生活習慣は大切だと感じている保護者の割合の増加	
地域人材の積極活用による取組みの充実	授業等支援員の適正配置の維持	
(3) 小中一貫教育の推進		【KPI】
小・中学校の系統性・連続性を鑑みた連携・一貫の強化	中学校区における会議等の連携頻度の増加	
本市初の義務教育学校の整備に向けた準備・対応	設置に向けた進捗率の向上	
(4) 児童・生徒の心身の健康づくり		【KPI】
地域人材を活用した地域クラブ活動の展開	地域クラブ活動参加者アンケートの満足度の向上	
すべての児童・生徒が学校や社会とつながりを持つことができる機会の創出	「学びにアクセス」ができていない不登校児童生徒数の減少	
(5) 安全で適正な教育環境の整備		【KPI】
児童・生徒数の推移と財政規模、今後の教育のあり方を見据えた適正規模・適正配置の検討	方針の策定	
安全・安心で良好な学習環境の確保		
(6) 子どもたちが大東に誇りを持ち、住み続けたいと思える郷土愛の醸成		【KPI】
大東のまちを知ることで、地域のために何かしたいと思う気持ちの育成	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合の増加	
子どもたちがまちづくりに関わる機会の創出	市内小中高の学生の意見聴取を行って策定した行政計画の数の増加	

5

出産や子育ての安心と魅力の創出

大東の特徴と課題

<強み>

待機児童ゼロを堅持している

他市に比べ、結婚年齢が低く、第3子以上の出産割合が高い

<課題>

子育て世代の流出が多い

子育て世帯が相談できる人や自分時間が持てずに負担感が増大している

めざす「定住したい」まちの姿

- 子育てしながら、自己実現を図ることのできるまち
- 子育て世帯が相談できる場所や人が身近にあるまち

KGI	子育て環境に満足している市民の増加	子育て環境が整ったまちだと感じる市民の割合の増加
	若い世代の転出の抑制	若年者層＋子ども層の転出率の減少

(1) 子育て世帯の孤立化の防止

【KPI】

ネウボランドだいとうの相談機能の強化	子育て環境が整ったまちだと感じる市民の割合の増加（0～18歳の子どもがいる家庭）
子どもの居場所づくり	子ども食堂やキッズプラザ等の利用者数の増加

(2) 子育てと自己実現の両立

【KPI】

保護者の自分時間の創出支援	誰でも通園制度の利用者数の増加
子育てサービスの利便性の向上	サポート券の利用率の増加

(3) 子育てニーズの多様化に応じた子育て環境の充実

【KPI】

社会情勢や保護者ニーズに応じた保育環境の整備	保育定員に対する利用者の割合
子育て複合施設の充実	フロムアースキッズの利用者数の増加

(4) 「子育てするなら、大都市よりも大東市。」を市民が実感できる情報発信

【KPI】

子育てサービスを分かりやすく伝える情報の発信と周知	
---------------------------	--

6 チャレンジする人と産業の後押し

大東の特徴と課題

<強み>

製造業が集積している
 20年以上存続している事業所が多く **定着率が高い**
 創業件数が増加傾向にある
交通利便性が高く、取引ネットワークとの隣接性に優れている
隣接する大阪市に比べて事業用地が割安である

<課題>

施設や設備の老朽化が進んでいる
 事業所数が減少している
 事業を継続するための人材不足に不安を抱える企業が増加している
 女性の就業率が全国よりも低い

めざす「定住したい」まちの姿

- 市内企業が持続的な成長をし続けられるまち
- 新しい企業の参入や起業が増え、市内産業が元気なまち
- 若い人や女性をはじめ誰もが自分らしく活躍できるまち

KGI	市内企業の経営効率の改善	付加価値額の向上
	市内経済の活性化	市内事業所数の増加
	就業しやすい環境の整備	市民（生産年齢人口）就業率の増加

(1) 市内企業の持続的な発展と留置支援の強化		【KPI】
市内企業の生産性とブランド力の向上支援	大東市（大阪府）の労働生産性（1人当たり粗付加価値額）の向上	
市内企業の人材確保・定着支援	市内労働者数	
産業施策の認知度向上と活用促進	支援制度活用件数	
新商品・新サービス開発支援	新商品・新サービスの開発数の増加	

(2) チャレンジしやすい環境づくり		【KPI】
創業者支援	創業者数の増加	
就労支援	セミナー・イベント参加者の就労率の増加	

(3) 市外からの企業誘致		【KPI】
流入しやすい環境整備	企業立地促進補助金を活用した市外企業新規件数の増加	
市内企業と市外企業との連携の推進	イベント参加によって生まれた連携プロジェクト数（マッチング数）の増加	
市外企業に向けた産業施策や操業環境の魅力の発信強化	企業誘致件数（市外企業からの相談件数）の増加	
(4) 市内企業の魅力を市民が知り、誇りに感じる情報発信		【KPI】
市内企業の魅力やポテンシャルを積極的な発信と周知		

7 シビックプライドの醸成と市外からの人の呼び込み

大東の特徴と課題

<強み>

国史跡指定の飯盛城跡をはじめとして、市内に多数の歴史的資源がある
市外からのアクセスが良く、市内もコンパクトであるため、移動・周遊しやすい
地域コミュニティが主体となる活動が存続している（自治会、だんじりまつりなど）

<課題>

市外からの認知度だけでなく、市民にも大東市の取組や歴史的資源の認知度が低い
地域活動の担い手が減少している

めざす「定住したい」まちの姿

- 「このまちが好き」という市民が多いまち
- 市民も市外の人も、「大東」や「大東の魅力」を知っているまち
- 大東を訪れる人が増え、消費が生まれるまち
- 地域コミュニティを支える人がいるまち

KGI	大東市民の愛着の醸成	大東に好意を感じる市民の割合の増加
	大東に対する市外からのイメージの向上	大東に好意を感じる市外の人々の割合の増加
	来訪者の増加	大東市を訪れる人の増加

（1）歴史・文化と観光・産業を掛け合わせた人の呼び込みとシビックプライドの醸成【KPI】

歴史的資源や魅力資源を活かした来訪と市内周遊の促進	来訪・市内周遊促進に係る取組への参加者数の増加率の向上
地域産業と連携した観光プロモーションの強化	地域産業との連携施策による効果額の増加率の向上
歴史的資源の保全と継承	歴史的資源が充実しているまちだと思える市民の割合の増加

(2) まちづくりへの参画によるシビックプライドの醸成		【KPI】
地域活動への参加促進（自治会等）	自治会加入率の増加	
市政への市民の参加の推進	審議会の市民委員参画率の増加	
公・民・大学等との連携による地域課題解決に向けた取組の推進	公・民・大学等との研究会への参加者数	
大東のまちを知ることで、地域のために何かしたいと思う気持ちの育成（再掲）	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合の増加	
子どもたちがまちづくりに関わる機会の創出（再掲）	市内小中高の学生の意見聴取を行って策定した行政計画の数の増加	

(3) シティプロモーションと発信力の強化		【KPI】
大東の文化や歴史資源等の魅力を発信と周知		
大東の安全対策や防災体制など、まちの安全性の発信と周知（再掲）		
大東の利便性や暮らしやすさなど、まちの魅力の発信と周知（再掲）		
子育てサービスを分かりやすく伝える情報の発信と周知（再掲）		
市内企業の魅力やポテンシャルを積極的な発信と周知（再掲）		
大東の魅力や情報のメディア露出の拡大		

8 行政サービス改革

大東の特徴と課題

<強み>

全国から多くのふるさと納税をいただいている
行政手続きのデジタル化が進められている
公民連携に先駆的に取り組んでいる

<課題>

経常収支比率の高止まりにより、柔軟な財政運営が難しい状況にある
人口減少に伴い、税収が減少する可能性がある
人口増加期の公共施設総量を維持している
高齢化社会の進展に伴い、デジタルデバイド対策が求められている
職員の人材確保が難しい

めざす「定住したい」まちの姿

- 財源が確保されて財政が安定しているまち
- きめ細やかな市民サービスが受けられるまち
- 市の施策を多くの人を知り、行政が信頼されているまち

KGI	財政の安定化・健全化	将来負担比率の「なし」の維持
	大東での暮らしの満足度の増加	大東市に満足している市民の割合の増加
	行政情報の発信力の向上	行政情報が得やすいと感じる市民の割合の増加

(1) 財源確保と歳出削減、資源の最適化		【KPI】
交付金等の積極的な獲得と事業の不断の見直し		経常収支比率（府平均）の改善
公共施設等の廃止・再編・活用による総量の見直し		床面積の削減
未利用普通財産の早期方向性の決定（再掲）		方向性が決定した数の増加
デジタル化・DXの推進による業務効率化の推進		デジタル技術の活用による業務削減時間の増加
基金の堅実で効果的な運用		基金運用利子額（預金・債券）の維持

(2) 質の高い行政サービスの提供		【KPI】
民間の力を引き出す提案型公民連携の推進	年間提案件数の増加	
職員の人材確保及びその成長段階や役割に応じた組織全体の力を高める人材育成	採用試験の受験倍率の増加及び研修アンケートにおける効果測定値の改善	
市民に親しみやすく便利な庁舎づくり	整備の進捗率の向上	
デジタル化・DXの推進による市民の利便性向上 ときめ細やかな行政サービスの推進	行政サービスのデジタル化による市民の満足度の向上	

(3) 職員の情報発信力の強化		【KPI】
各課の取組の積極的な情報の発信と周知		

(6) 検証及び見直しについて

毎年度、取組の進捗状況やKPIの達成状況を内部で検証するとともに、検証結果を外部有識者や市議会議員、市民等を含む大東市総合計画・総合戦略審議会に報告し、意見聴取を行う。

また、総合戦略にかかる取組のうち、重点施策に紐づく取組については、毎年度対象となる事業を選定するとともに、重点的に進捗管理を行っていく。

あわせて、市民を対象とした意識調査を定期的を実施し、市政全般に対する市民意識の傾向を把握する。

これらの検証結果を踏まえ、各取組や予算への反映を行うとともに、必要に応じて総合戦略の見直しを図る。